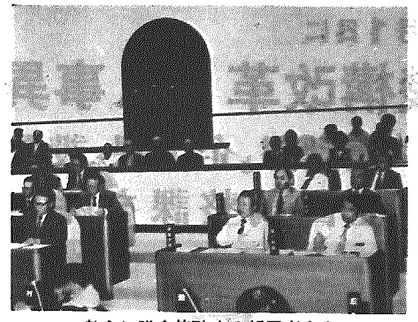
6月定例議会

課制条例の一部改正

「交通安全の村」の宣言を可決

六月定例議会が六月十日から十三日まで、四日間の会期で開かれ、課制条例の一部改正など十五議案と、陳情一件を審議し、原案通り可決しました。


熱心に議会傍聴する新田老人ク

また、一般質問は、会期の初日に行われ、五議員が登壇、名誉村民の制定、労組対策、健康政策の再構築、横越新田地区の宅地開発に対する村の対応、新庁舎附近の道路・下水路の整備、通学道路の安全対策、農政対策について村当局の考えを質しました。

新庁舎になってからはじめての定例議会。登壇方式を取り入れた議会で、誰れが一番はじめに一般質問で登壇するか。傍聴席も整備され、傍聴人がどの程度あるか注目されていましたが、一般質問の初登壇者は、佐藤（正）議員、傍聴者は、新田老人クラブの二十人余ありました。

おもな議案

■**横越村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正。**
し尿汲み取り料金一八リットル当たり「七十三円」を「七十八円」に改正。

■**横越村課制条例の一部改正**
役場機構のうち、企画調整課を廃止、また、建設企業課を建設課と企業課に分離。

■**一般会計補正予算（第一号）**
歳入予算総額に一、三六〇七千円を追加、歳出予算総額に一七、二三三千円を追加、三、六二六千円を減額。歳入歳出予算総額一八億八、四六〇万七千円。

○**おもな補正予算の内容**
庁舎北側ブラインド取付
道路排水路設計委託、道路台帳更新委託、道路安全施設補修、下水道特別会計繰出。

■**「交通安全の村」の宣言**
昭和六十年七月十七日を期して、横越村が「交通安全の村」であることを宣言。

請願陳情

■**信越電気通信監理局の存置継続に関する陳情書**
継続審議

参加しよう！

7月17日(水)

交通安全村民の集い

交通事故が多発しています。全村民一人ひとりのもとで、交通安全の実を挙げるため、「横越村交通安全村民の集い」を計画しました。

村民の皆さんから多数参加くださるようお願いします。

▽**日時**
7月17日(水)　午後0時30分

▽**会場**
横越小学校

▽**催し物**
○交通安全宣言
○交通安全パレード
○県警音楽隊による演奏会
○事故実演
・歩行者（ダミー）のとび出し事故
・大型車の左折巻き込み事故
○交通事故写真パネル展示

主催　横越村・横越村農協

人口のうごき

（60年5月末現在）

総人口 9,005人 ｛男 4,362人 / 女 4,643人｝

世帯数 2,055

5月の動き ｛出生13人　転入 9人 / 死亡 7人　転出17人｝

健康相談

7月9日(火)
午前9時～午後4時
役場保健室

公社分譲住宅 八戸完売

最高三倍の競争率

六月一日から十日まで県住宅供給公社横越団地で、村内の建築業者らが設計と建築に腕をふるった八戸の住宅展示会が開かれ、村内外から大勢の観覧者でにぎわいを見せ、並行して実施された展示住宅の分譲が完売されるという盛況で幕を閉じました。

展示住宅の分譲は、横越団地でははじめての試みで「展示住宅と馬鹿にしていたが建築資材といい、設計といい、こまかいところに配慮されている。」「若い人好みのモダンな住宅だ。」「敷地、建物の広さも十分で、適当な価格だ。」と観覧者の評。

分譲申し込み者は、十二人競合した住宅は三戸、最高三倍の競争となった住宅もありました。

十一日役場で抽選会が行われ、八人の購入者が決まりました。このうち村内の人は、二人、七月初旬に購入者に引き渡す予定になっています。

分譲!!公社住宅

積立分譲住宅　7戸
募集期間　7/29～8/7
説明会　7/26　午後一時半
役場　多目的ホール
詳細は5月号6月号を参照

館展　細山保男さん 四年連続 最優秀賞に

公民さつき

六月二日公民館で、さつき展が行われ、細山保男さんが四年連続最優秀賞となりました。

出品は、三七人、一二二鉢今年から銘木の部が設けられました。各部門の優秀賞は次のとおり。

▽競技花（愛の月）の部
桜井久勝

▽大型の部
高橋勝平、高橋達栄

▽小型の部
伊藤誠次

▽銘木の部
細山保男

企業誘致へスタート

企業誘致推進委員会開催

会長は五十嵐氏、副会長に神田氏

三月定例議会で、村長の諮問機関として制定された「企業誘致推進委員会」の初の会議が六月十九日開かれ、企業誘致にむけてスタートしました。

企業誘致推進委員には、次の九人が委嘱され、十九日の会議で会長に五十嵐孝哉氏、副会長に神田勝郎氏が選出されました。

また、同委員会は当面する活動として、①企業をどう求めていくか。②企業の受皿としての団地の進め方などについて意見交換がされました。

五十嵐孝哉（農協組合長）
神田　勝郎（村議会議員）
佐藤　惇（村議会議員）
渋谷　泉（土改横越工区長）
谷井　篤光（商工会副会長）
畑野　晋也（柴田屋加工紙㈱社長）
松井　定夫（新栄信用組合横越支店長）
宮沢　熊一（農業委員会々長）
若杉　典正（第四銀行亀田支店長）
（五十音順）

7月の納税
固定資産税
第2期
国民年金保険料
第2期
納税には、自動的に口座振替制度があります。納税にご利用ください。

校長だより

「真竹をめざす会」

四月の半ばに新津市の新興住宅のある親父の会から、招待状を受けた。代表名も憶えがない。出席したら、見覚えの顔が二、三人いる。

年代は、三十五、六歳から、四十二、三歳、何れも働き盛りの父親ばかり、茶を一服ご馳走になると、リーダーと思われる人が、今日招いた理由を話し出した。

㈠　人の子の親として、小学校から高校までの子供を持って子どもが大きくなれば親の言うことを聞かなくなる。今十一人の仲間と話し合ってみることにした。職業も各種である。

㈡　毎月「自分等は父親として役目を果しているか」を話し合っている。

㈢　一年に二、三回は問題が絞り出されると、講師を混じいて懇談会を開くことにしている。と言うのである。

今までに二人の講師を頼んだという。一人は元警察署長、今一人は僧侶で三人目が自分と解った。これは迂闊な話は出来ないぞ、警戒心が先にたって少々硬直した。前回からの絞り出された課題は二つである。

一つは「働き盛り」の吾々には、子供に接する時間が不足している。これをどうするか。

二つめは「勝負ごと好きな親を子供達はどう見ているだろうか」と言う問題である。

なる程、親父達はそれぞれに考え、悩んでいるのである。さて自分の教育観からして、適切な答が出てくるだろうか自分もその年代はどうしたかよしこのことだ。

それは「量より質」が大事でしょうね。日々忙しくとも、夕食時の一とき、就寝前の話し合い、それは短いにしても、子供達は満ち足りている。要は温くもりの対話が湧いてくる。「お前もいいことを言うな利口になったなあ」この褒め言葉が、励みになる。

㈡の「勝負ごとの好き親父」の問題は、この問題はむずかしい、勝負ごとは教育上よろしくありませんなどと、切り出せば、話題は忽ち潰れてしまう。肯定してかかれば出題者は載ってくるであろうと思い勝負ごとは、ファイトが湧いてくるじゃないですか、勝負することに思考をこらし、楽しみ境地をつくれば生活の原動力が生れ、勇気が湧いてくるでしょう。それは子供にもよい影響があり、よい趣味や、教養が与えられると思いますよ、問題は溺れて、時間を奪われないことでしょう。

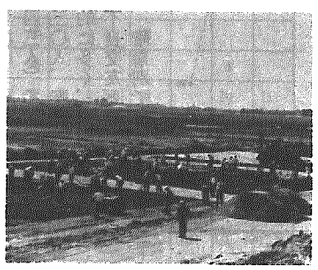
答になったか、当を得ているか、相手の酌量によることである。

話している中に、お前さん達いい会をつくったが、俺を仲間に入れてくれと言ったら爺は駄目と断れた。

（板　垣）

老人クの労力奉仕で ゲートボール場三面できる

六月六日、役場庁舎裏に、老人クラブの人たちの労力奉仕によってゲートボール場ができました。



このゲートボール場は、老人クラブから中蒲原郡大会を今年横越村で開きたいとの要請を受けて、村が村民体育館建設予定地（八三六九平方㍍）のおよそ半分を暫定的に整備したもの。

ゲートボール場整備にあたって、老人クラブでは、整地作業に大動員をかけ、一〇〇人余が作業に参加、最近のゲートボール熱の高まりと郡大会を成功させようという心意気が額の汗から強く感じられます。

図書寄贈 ありがとうございます

青木藤八さん（横越中）と氏名を告げなかった女性から公民館に図書の寄贈ありました。

8月15日に成人式

▽**日時**
8月15日
午前9時受付

▽**会場**
農村環境改善センター（沢海）

▽**成人式対象者**
昭和39年4月2日から40年4月1日まで生れた者

対象者には、後日案内状を差し上げますが、成人者同志お誘い合せの上、ぜひ、おいでください。

横越村公民館

新県庁舎の一般公開日

新県庁舎の一般公開は、七月二十一日から八月二十五日までの各日曜日、午前九時から午後四時まで行います。

なお、修学旅行等の団体で平日に見学を希望される場合は、あらかじめ県総務部管財課へお問い合わせください。